



学校だより

令和4年度 第12号
令和5年3月24日発

「旅立ちます！」

校

「旅立ちます！」3月17日、体育館にそう声を響かせて6年生は高洲第三小学校を卒業していきました。体育館の前と後ろに向かい合って並んだ6年生と5年生。それぞれの心に届けと言わんばかりにメッセージを交わし「三小のバトン」を受け渡しました。

私は、6年生たちにつぎのような話をしました。

親はいつまでも、あなたが小さな手で、私たちの指を握った感触を忘れないこと。嬉しいことも、つらいことも人生には起こるけれど、それにどのように反応するかは自分で決められること。思い切り生きて心を躍らせ「最高のあなた」を目指してほしこと。

6年生たちは、誇らしげに会場を後にして旅立っていきました。

修了式をむかえた、1年生から5年生にも話をしました。「できるようになったこと」「やってみたこと」を思い浮かべてみよう。「いつかやろう」「間違えたらどうしよう」と考えるのではなく挑戦を続けよう。「成功」と「失敗」は同じ方向にあること。自分が今あるのは、名前を呼んでくれる人、一緒に笑ってくれる人、様々なことを教えてくれる人など「周りの人」があってこそのものであること。

画面越しでなく、一同が体育館に集まって話を聞く様子はそれだけで「学校」を感じることができるといえるものでした。

続いて行われた離任式。子どもたちは先生を、私たちは仲間を送り出さねばなりませんでした。今まで一緒に過ごした時間は一瞬のようでもあり、とても長いようでもあって、お互いがいて当たり前の日々がいかに得難く、素晴らしいものであったことを全員で共有しました。別れもまた、子どもはもちろん、おとなをも成長させる大切な経験です。

失敗

成功



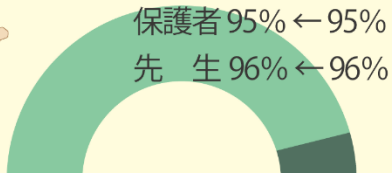
令和4年度まとめ

千葉市立高洲第三小学校

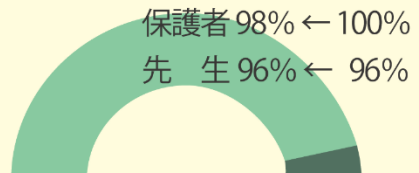
学校アンケート

児童 356名 保護者 237名 (78%) 教職員 24名

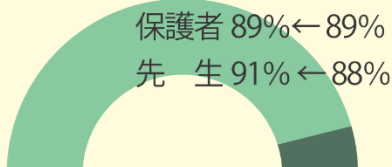
学校が楽しい 92% ← 前期 90%



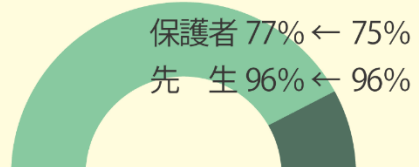
なかよくできた 97% ← 95%



わかった! 90% ← 93%



すすんで学んだ 83% ← 81%



体力づくりができた



時間を守れた



手伝い・掃除ができた



あいさつができた



保護者の皆さんに伺いました



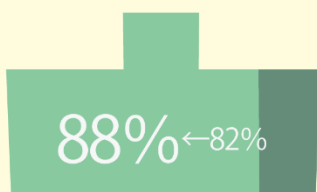
情報がわかりやすい



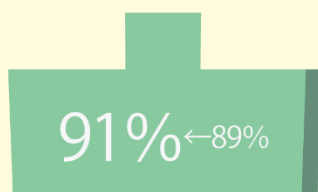
相談しやすい



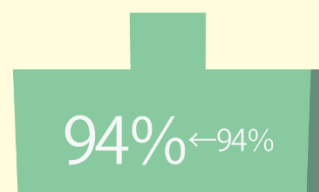
いじめ防止の取組



そう思わない
12% ← 18%



そう思わない
9% ← 11%



そう思わない
6% ← 6%



学 校 が 楽 し い

児童92%・保護者95%・教職員96%

児童が「楽しい」と感じられる学校生活のため、「楽しい学び」「子ども主体の活動」を創り出していきます。子どもたちが活発に過ごすためには、生活習慣が基本です。学校と家庭が連携できるよう「早起き・朝ごはん・早寝」をよろしくお願いたします。



仲 良 く で き た

児童97%・保護者98%・教職員96%

友だち関係をどのように捉え、感じるかは児童によって様々です。年2回の教育相談週間やスクールカウンセラーとの面談の充実を図り、保護者のみなさまと連携して担任をはじめ全教職員で児童の学校生活を支援します。



わ か っ た ！ (学 習 内 容 の 理 解) 児 童 9 0 % ・ 保 護 者 8 9 % ・ 教 職 員 9 1 % す す ん で 学 ん だ (学 習 意 欲) 児 童 8 3 % ・ 保 護 者 7 7 % ・ 教 職 員 9 6 %

学年が進むにつれて、学習は内容が深まり量は増加します。意欲や興味・関心の高さは学習の基盤です。個別最適化する指導を心がけ「楽しい学び」の創出に取り組みます。また、体験的な教育活動の制限が少なくなってきたので、子どもたちに魅力的な学習の場を用意する機会も増やせそうです。ご家庭でも家庭学習の習慣化に変わらずご支援ください。子ども達は保護者のみなさまの少しの声掛けで、大きく伸長します。



体 力 づ く り が で き た

児童82%・保護者78%・教職員82%

マスクの制限緩和などで外遊びに興じる児童の姿が見られました。体育の授業内容も充実してきており、教職員の評価は向上しています。しかし、数年間の制限下で運動への関心の低下や投球する力、持久力などの低下がみられました。次年度は体を動かすことの楽しさを味わえる場や活動の工夫をして、基礎体力の向上を図ります。



挨 拶 で き た

児童85%・保護者84%・教職員78%

「朝のあいさつ運動」で挨拶することのよさを実感できた児童もいます。登下校時のセーフティーウォッチャーの方々のおかげで、挨拶ができる子供たちも増えました。挨拶を身に付けるにはご家庭での「おはよう」から始まります、学校でも私たち大人から積極的に挨拶をしていきます。



手伝い・掃除ができた

児童85%・保護者80%・教職員の87%

美化委員会や保健委員会の活動を契機に、清掃に熱心に取り組む児童が増えてきています。「きれいになったね」「手際がいいね」「助かるよ」などの励ましや感謝の言葉が子ども達の意欲や習慣化につながります。



時間を守れた

児童87%・保護者81%・教職員の83%

本校ではチャイムを使用せず、一日の予定を「朝の会」で伝えて、時間を自己管理できるように指導しています。ご家庭での就寝時間や起床時間など、生活の中で指導を継続していくと一層効果的です。

【ここからの設問は保護者のみの調査】



学校からの情報発信がわかりやすい

88%の肯定的回答

学校連絡メール「すぐーる」の活用で、プリントの配付以外にも、多くの情報を素早く提供できるようになりました。「すぐーる」や学校ホームページ、おたより等の様々な媒体を通して、わかりやすい情報を提供していきます。



学校への相談のしやすさ・いじめのない学校づくり

91%・94%の肯定的回答

年2回の教育相談週間やいじめアンケートの実施をはじめ、日常から子ども達の様子に気を配っています。気がかりなことなどがありましたら、私たちと情報を共有してください。今、子ども達に必要な支援は何かをご家庭と学校で考えていきましょう。

【自由記述設問での御意見】

21名

300名を超える児童が過ごす学校では様々な出来事が起こります。マスク着用や友達とのトラブルの相談、家庭学習と学校での指導等、みなさまの心配の種は尽きることがないのでと拝察いたします。

全てのご要望にお応えすることは難しいのですが、改善すべきは迅速にそれを行い、皆様とコミュニケーションをとって、ともによりよい高洲三小を目指してまいります。

なお、21名中16名の方から本校の取り組みや教職員に対して、お褒めの言葉や励ましのお言葉をいただきました。これを励みに引き続き努力してまいります。

ありがとうございました。